

巻頭言	01
明治維新に思いを馳せる	セキ株式会社 代表取締役社長 関 宏孝
お知らせ	02
●平成30年度産学共同研究開発支援事業のご案内	
特集	03
1. イノベーション四国総会を開催	
2. 2017イノベーション四国顕彰事業表彰式	
事業活動の紹介	13
(1) 成長産業支援事業	13
①第2回CNF技術セミナー	
②新機能性材料展2018へ出展	
③AFRWセミナー&説明会	
(2) 食産業の振興	16
①四国アライアンス「産業振興セミナー」	
②「四国健康支援食品普及促進協議会」平成29年度総会を開催	
(3) 技術開発支援	19
戦略的基盤技術高度化支援事業成果報告	
(4) 販路開拓支援	20
イノベーション四国ビジネスマッチング2017の開催	
(5) その他活動	21
①STEP役員会を開催	
②ものづくり日本大賞応募支援	
③イノベーション四国 支援機関連絡会を開催	
その他	24
STEPのひとりごと	
職員の異動	
編集後記	

巻頭言

明治維新に思いを馳せる

セキ株式会社
代表取締役社長 関 宏孝



明治維新から150年を迎える今年は、数多くの維新の志士たちが注目されています。その中でも西郷隆盛は、生誕190周年の節目でもあり、『敬天愛人』の精神を貫いたその人柄や生涯が多くの人たちを魅了しています。その西郷隆盛を育てた鹿児島においては、彼も教えを受けた第11代薩摩藩主島津斉彬という私が最も敬愛してやまないリーダーがいます。

斉彬の薩摩藩主就任からわずか2年後にペリーが来航し、日本はまさに緊迫した世界情勢の渦に巻き込まれようとしていました。そうした中、就任後すぐに「集成館」事業に着手し、東洋一となる近代的工場群を築き上げ、西欧の科学技術を積極的に導入し反射炉を完成させるなど、西欧列強による植民地化を避けるため、富国強兵・殖産興業政策を推し進めていきました。また薩摩ブランドを世界へ広めるため、薩摩焼・薩摩切子等を生み出し、現在に受け継がれる貴重な伝統工芸となっています。次々と行われた多くの事業は、斉彬が藩主を務めたわずか7年で行われたことには驚きです。ここまで自国を憂い、明確なビジョンを持ち、未来を見据えた事業を短期間に実行したリーダーがいるのでしょうか。

セキ株式会社は今年で創業110周年目を迎えます。この長い歴史を後世へ引き継いでいくためにも、私自身が斉彬に習い、未来を見据えた経営をしなければならないと常々思っています。明確で長期的なビジョンがあれば、その計画遂行のためのスピードも上がっていきます。現在大きなテーマとなっている生産性の向上についても、現在の日本の生産性指数はアメリカとの差が歴然であります。まさしく斉彬が生きた時代とよく似ており、生産性の向上とともに、人づくりを行い、未来を見据えた新規投資を行う重要な時期であると感じています。多くの場で議論されているイノベーションもそうした大きな動きの中から生まれてくるのではないのでしょうか。

我々は、その動きの第一歩として「第3の創業」と銘打ち、昨年10月より新事業である水性フレキソ印刷加工事業をスタートさせました。この事業を大きく育て、後世に残る事業にしていくことが私に課せられた使命であると感じています。世界情勢をしっかりと見極めながら、今後も地域社会にとって、また日本にとって価値ある会社となるために、斉彬という素晴らしいリーダーに少しでも近づいていきたいと思っております。

プロフィール

関 宏孝 (せき ひろたか) 1978年生まれ 愛媛県松山市出身
【職歴】 2008年 セキ(株)入社
取締役 事業開発室長
常務取締役 事業開発本部長
専務取締役 松山事業本部長を経て現職

◆お知らせ

平成30年度産学共同研究開発支援事業のご案内

～企業と大学等の共同研究・製品開発に助成を行います～

STEPは、イノベーション四国と連携し、企業の技術開発・販路開拓をはじめとするイノベティブな取り組みに対する支援を行っておりますが、今回、四国の中小企業が大学・高専および公設研究所等と行う共同研究・製品開発について、下記のとおり5月7日(月)から7月27日(金)の間、助成対象事業の募集を行います。

今年度の助成金額は1件あたり50万円程度、4件程度の採択を予定しています。

◆「産学共同研究開発支援事業」募集概要

支援対象	四国内に本社または事業所を持つ中小企業
対象事業	企業が取り組み中または検討中の技術開発・製品開発のうち、大学・高専または公設試験研究機関等の研究者と共同で行う事業とします
支援対象経費 および助成金額	・当該事業の実施に直接必要な経費 ・1件あたり50万円程度を限度とします
研究期間	1年以内
募集期間	平成30年5月7日(月)～7月27日(金) (7月27日(金)STEP必着)
応募方法	4月中旬にSTEPホームページに掲載いたします (平成29年度実績は下記アドレスに公開しています) http://www.tri-step.or.jp/innovation/develop.html
選考	審査委員会において、「技術面」、「事業化面」、「政策面」などについて、書類審査および必要に応じてヒアリングを行い評価した上で決定します。採択件数は4件程度を予定しています。
採否等の通知	応募者宛てに通知します
実績報告	事業完了後、実績報告書を当センターに提出していただきます
応募に関する お問い合わせ・ お申し込み先	〒760-0033 高松市丸の内2番5号 (一財)四国産業・技術振興センター 産業振興部 田中、井上 TEL 087-851-7081 FAX 087-851-7027 E-mail step@tri-step.or.jp URL http://www.tri-step.or.jp/

1. イノベーション四国総会を開催

～ 30年度活動計画等を承認～



平成30年2月28日、高松市サンポートのかがわ国際会議場においてイノベーション四国（四国地域イノベーション創出協議会）総会を開催し、関係者約70名が出席しました。

まず、事務局3者（STEPおよび産総研（産業技術総合研究所四国センター）、中小機構（中小企業基盤整備機構四国本部））から29年度活動報告を行った後、30年度活動計画について審議し、いずれも出席した会員機関の承認を得ました。

30年度は、これまで取り組んできた「有望な技術を持つ企業が成長するための支援」「成長分野における新事業創出の支援」を引き続き重点事業と位置づけ、イノベーション四国会員機関やICとの連携を強化し、四国経済産業局や県等とも協調しながら、産業活動の主役である企業の課題解決支援に四国の総力で取り組んでいくこととしています。

なお、マッチング活動を中心に情報共有を図っていくた

め、29年度に新たに4県の中小企業団体中央会と四国経済連合会が会員に加わり、イノベーション四国の会員機関は計49機関となりました。

■30年度活動計画

これまでの活動を承継し、有望な技術を持つ企業の成長を継続的に後押しするほか、会員機関やイノベーション・コーディネーター等が連携して各社の新事業・新技術開発支援に取り組む。

実施に当たっては、必要に応じ域外の支援機関等とも柔軟に連携を図っていく。

I. 有望な技術を持つ企業が成長するための支援

成長が見込める独自技術を有し、将来、ニッチトップ企業や地域中核企業等としての役割を担い、経営層と協働できる企業について、各会員機関・ICと連携し計画的・集中的に支援する。

1. 販路開拓支援

(1) 支援サイクルの確立と継続的な推進

ニーズの高い「販路開拓」を支援活動の核に置き、企業が自社の強み・技術の独自性を再確認する機会、新たな課題やニーズを発見する機会等をつくっていく。

具体的には、マッチングを企画し、イノベーション四国会員機関やIC等による伴走支援のもと、より高い成果を得られるよう、出展前に自社の強み確認、PR手法の検討などの準備作業を行うほか、終了後は各社の事情に応じた適切なフォローアップを行うなど、支援サイクルを確立し継続的に推進する。

- ・他地域支援機関との連携によるマッチング
- ・専門機関を通じた個別マッチング支援
- ・オープンイノベーションの活用による四国企業の支援
- ・各種展示会への出展支援 など

2. 技術開発支援

企業に近い位置にある支援機関・ICが発掘した課題について、内容に応じてネットワークを活用し協力の輪を広げて迅速な解決を図り、新事業・新技術の開発を促進する。

具体的には、ICの派遣に加え、各会員機関による協調のとれた支援を行う。（関係する会員機関が、本来事業の枠組みで支援する。イノベ四国は、後援・協力の立ち位置）

- ・補助金申請書のブラッシュアップ
- ・共同研究の実施
- ・管理法人の引き受け など

II. 成長分野における新事業創出の支援

各社が取り組む新事業・新技術開発について、イノベーション四国会員機関等の連携により支援を進める。

- ・高機能素材活用（セルロースナノファイバー、炭素繊維、高機能紙など）
- ・新技術活用（次世代燃料・電池など）
- ・その他（サポイン等外部資金獲得支援など）

III. 支援基盤の整備

1. 支援基盤の整備

企業が抱える課題を四国の総合力で解決していくには、企業情報や課題を各支援機関が共有し、それぞれが有する資源やツールを効果的・効率的に活用するなど、「連携・協働」することが重要である。

（例えば、各機関が計画する展示会やマッチングについて、参加企業抽出、開催時期、支援手法等について、可能



な機関同士で連携し、役割分担の調整等を行っていく。）

2. セミナー・講習会等の開催

企業の技術開発や新規事業展開等に向けた取り組みを支援するため、産総研や各県公設試等と連携して、成長分野等をテーマとした新技術セミナーを開催する。

また、各機関が実施するセミナー等について、イノベーション四国が後援するなど、積極的に支援する。

3. イノベーション四国顕彰事業

「四国産業技術大賞」「四国でいちばん大切にしたい会社大賞」を運営し、四国の活性化に貢献する企業の表彰を行うとともに、終了後は、各賞受賞企業の技術・製品や事業のPRに努め、販路開拓支援にもつなげていく。

◆ 規約の改定

イノベーション四国は平成20年の成立以降、会員機関も拡大する一方、より柔軟でスピーディーな対応が求められるようになってきているため、現在の趨勢にマッチするよう規約の改定についても提案を行い、承認されました。

2. 2017イノベーション四国顕彰事業 表彰式

「第22回四国産業技術大賞」

「第7回四国でいちばん大切にしたい会社大賞」



イノベーション四国では、企業の更なる発展の一助となる事を願い、産業技術の発展に貢献した企業を表彰する「四国産業技術大賞」と、社員や顧客、地域から必要とされる経営を行っている企業を表彰する「四国でいちばん大切にしたい会社大賞」を設け、企業の皆さまの事業活動をそれぞれの観点から顕彰しています。

平成30年2月28日、高松市サンポートのかがわ国際会議場において、四国内の産業支援機関や大学、企業など多数のご参加をいただき、両賞の表彰式を行いました。表彰式では、長濱四国経済産業局長のほか、イノベーション四国事務局であるSTEP理事長ならびに産業技術総合研究所四国センター所長、中小企業基盤整備機構四国本部長から、各社に賞状等が贈呈されました。(受賞者の詳細については、9頁以降を参照ください)

当日は、受賞企業の代表者や社員の方々から、受賞技術の紹介や受賞の喜びについてスピーチいただき、感動を共有するとともに、会場ロビーにて受賞企業の製品や技術を

紹介する展示を行い、参加された方々と受賞企業との交流を図りました。

表彰式の後には記念講演会を開催し、講師には、「社員満足主義」を掲げ、平成元年より完全週休2日(休日出勤なし)・残業ゼロ・有給休暇完全消化で黒字経営(創業以来赤字なし)を続けられ、「平成25年度ダイバーシティ経営企業100選」(経済産業省)に選出、「第8回ワーク・ライフ・バランス大賞」優秀賞(日本生産性本部)、「第6回日本で一番大切にしたい会社大賞」審査委員会特別賞(人を大切にする経営学会)を受賞されました、拓新産業株式会社代表取締役藤河次宏氏をお招きして、「働きやすい職場環境を目指して～我が社の働き方改革30年～」をテーマに講演いただきました。

式典終了後には、受賞者および関係者の交流会を開催し、業種を超えて親睦を深めていただくとともに、参加した社員の皆様とも受賞の喜びを分かち合っていました。

① 表彰式



四国産業技術大賞
産業振興貢献賞の 菊井商会 様



四国でいちばん大切にしたい会社大賞
四国経済産業局長賞の シケン 様

2017イノベーション四国顕彰事業 受賞者一覧

●第22回 四国産業技術大賞の受賞者

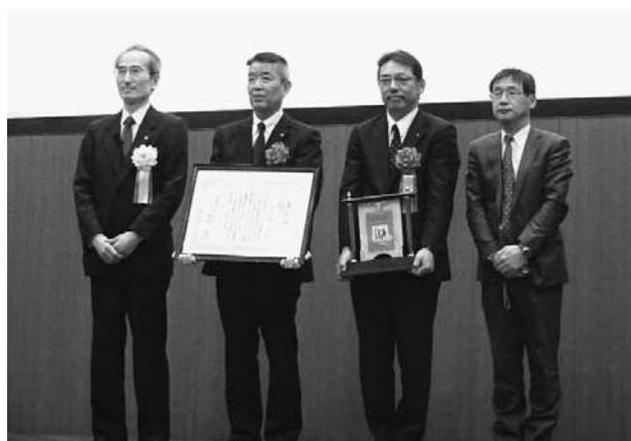
受賞種別	受賞者名(所在地)	受賞概要	推薦者
産業振興貢献賞	株式会社 菊井商会 (香川県丸亀市)	糊の技術を活用した土木建設用コンクリート養生粘着シートの開発	かがわ産業支援財団
革新技術賞	最優秀賞 兼松エンジニアリング株式会社 (高知県高知市)	減圧化でのマイクロ波加熱による連続抽出・乾燥でバイオマスを再資源化する装置の開発	高知県工業技術センター
	優秀賞 吉原食糧株式会社 (香川県坂出市)	健康機能性とおいしさを増強した健康志向小麦胚芽粉末「スウィートポリフェ」の開発	香川県産業技術センター
技術功績賞	最優秀賞 株式会社 垣内 (高知県南国市)	製造されたペレットを短時間で外気温近くに冷却できる環境負荷低減型の冷却システム	高知県発明協会
	優秀賞 環境資材株式会社 (愛媛県西条市)	ヒートアイランド現象を抑制するコンクリート混和剤(活性アルミナ)の開発	西条産業情報支援センター

●第7回 四国でいちばん大切にしたい会社大賞の受賞者

受賞種別	受賞者名(所在地)	受賞概要	推薦者
四国経済産業局長賞	株式会社 シケン (徳島県小松島市)	「共育ち精神」による一体感! 「働く人が輝く会社」!	とくしま産業振興機構
中小企業基盤整備機構 四国本部長賞	株式会社 世起 (愛媛県松前町)	経営理念の共有と実践! 「社長と社員がともに学ぶ会社」!	—
奨励賞	渦潮電機株式会社 (愛媛県今治市)	経営理念の共有徹底と行き届いた社員教育! 「和を重んじ、国内外で活躍する会社」!	愛媛県発明協会



四国産業技術大賞革新技術賞
最優秀賞の 兼松エンジニアリング 様



四国産業技術大賞技術功績賞
最優秀賞の 垣内 様



四国産業技術大賞革新技術賞
優秀賞の 吉原食糧 様



四国産業技術大賞技術功績賞
優秀賞の 環境資材 様



四国でいちばん大切にしたい会社大賞
中小企業基盤整備機構四国本部長賞の 世起 様



四国でいちばん大切にしたい会社大賞
奨励賞の 渦潮電機 様



菊井商会 保井取締役のスピーチ



シケン 島社長のスピーチ



兼松エンジニアリング 柳井取締役のスピーチ



垣内 安岡社長のスピーチ



世起 今村社長のスピーチ



渦潮電機 竹下取締役のスピーチ

② 第22回四国産業技術大賞 受賞者の概要

●産業振興貢献賞

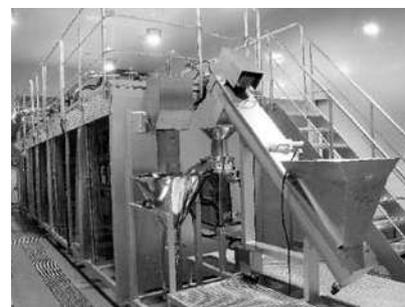
株式会社 菊井商会 (香川県丸亀市)	
糊の技術を活用した土木建設用コンクリート養生粘着シートの開発	
業 績 概 要	<p>コンクリートは打設後、表面を密閉し適切な温度と湿度を保つことで強度を発揮させるため一定期間の「養生」が必要であるが、トンネル工事では、内壁のコンクリート型枠を取り外した後、架台を組みバルーンで表面を覆い養生を行う工法が増えつつあった。しかし、本工法は設備の設置・撤去に手間と費用がかかるため、より簡易な方法が望まれていた。</p> <p>同社は、こうした要望に対し、丸亀うちわの「糊」を発展させた水性接着剤の技術を活かし、気泡緩衝材・発泡ポリエチレンの断熱層と、コンクリート専用開発された粘着剤で構成する「コンクリート養生粘着シート」を国内で初めて開発した。</p> <p>本製品は、湿潤なコンクリート面に貼り付け養生完了後はきれいに剥がすことができ、再利用も可能である。また、従来のバルーン工法と比べコストは1/3程度、コンクリートの品質向上や環境改善にも寄与する画期的な製品となっている。</p> <p>平成24年の発売以来、トンネル工事現場を中心に高速道路橋脚、海岸防波堤、ダムなど123件カ所で使用されており、耐候性を備え接着力を強化した屋外専用シートとあわせて、今後、老朽インフラ整備や東京五輪関連工事等を背景に、堅調な伸びが期待される。</p>



高所作業者をを用いた
養生粘着シートの貼付状況

●革新技術賞

最優秀賞 兼松エンジニアリング株式会社 (高知県高知市)	
減圧化でのマイクロ波加熱による連続抽出・乾燥でバイオマスを再資源化する装置の開発	
業 績 概 要	<p>ユズなど柑橘類の搾汁後果皮は、従来マイクロ波を用いて精油などの有用物の抽出に利用されていたが、既存の装置は原料の入れ替えが必要なバッチ方式で、大量処理が困難なため利用は一部に留まり、大部分が廃棄されてきた。</p> <p>こうした中、同社は連続方式で有用物の抽出と乾燥を同時に行う製品を開発し、大量処理と抽出後残渣の用途拡大を実現した。</p> <p>本製品は、複数のマイクロ波発生装置を搭載する従来方式の長所を生かしたまま連続方式にすることで、精油や芳香蒸留水の需要増加に対応し、さらに、限界まで芳香蒸留水を抽出することで、抽出後残渣の含水率を30%以下にまで抑え、畜産飼料などへ有効利用することで、原料バイオマスのすべてを有用物に転換する画期的な製品である。</p> <p>本製品は2017年に高知県の食品加工会社に採用され、これまで廃棄されていたユズ果皮の有用化が実現されている。今後は、果物や薬草等への活用、国産精油の需要への対応や抽出後残渣の飼料化による畜産振興への寄与など、幅広い展開が期待される。</p>



バイオマス再資源化装置

優秀賞

吉原食糧株式会社 (香川県坂出市)

健康機能性とおいしさを増強した健康志向小麦胚芽粉末「スイートポリフェ」の開発

業績概要

消費者の健康志向が高まる中、用途が広く消費量の多い小麦粉について、健康機能性を強化した製品の開発が望まれてきた。

こうした中、同社は健康機能性の高い小麦粉の研究開発を進める過程で、抗酸化性の高い部位(小麦胚芽)と寄与成分を明らかにし、既存の小麦粉に添加するだけで健康機能性とおいしさを強化できる本製品を開発した。

同社は独自の製粉技術により小麦胚芽を粉体化し、従来の小麦粉よりも総ポリフェノール含量を9倍、抗酸化性を10倍、食物繊維量を4倍に高め、通常の小麦粉に20%配合することで「甘さはそのまま、砂糖使用量30%低減」を可能にしており、生活習慣病の予防効果も期待できる。

本製品は従来の小麦粉に配合して用いるため、小麦粉を使用する多くの加工品に適用可能で普及性が高く、すでに県内菓子メーカーだけでなく大都市圏の製菓業者や有名店でも採用・商品化されており、今後もさらなる普及が期待される。



スイートポリフェ

◎技術功績賞

最優秀賞

株式会社 垣内 (高知県南国市)

製造されたペレットを短時間で外気温近くに冷却できる環境負荷低減型の冷却システム

業績概要

同社は、養鶏業者から排出される鶏糞を廃棄物から有価物に転換させるため、独自方式による有機ペレット肥料化装置「粒造くん」を開発、これは現在、同社の主力商品となっており、有機肥料ペレット分野で国内シェアNo.1の地位を得ている。

ただ、ペレットは製造直後に袋詰めを行うと結露等により品質が劣化するため、短時間で外気温近くに冷却できる装置の開発が望まれていた。

そこで同社は現場ニーズを捉え、燃費、設置スペース、価格等に課題のあった他社製品を凌ぐ冷却システム「ひえた君」を開発した。同機は、冷却用コスト20%減、排出用コスト30%減、設置スペース40%減、価格25%減を実現、既発の「粒造くん」と組み合わせた連続処理も可能で、2015年の発売以来、全国の養鶏業者を中心にすでに17台を販売している。

現在、これまで培ってきたノウハウ、技術を活用して、ペレット散布機の開発に着手するなど、有機肥料ペレット分野におけるトップメーカーを目指した取り組みを強化するとともに、タイへのペレタイザー輸出など、海外への展開拡大も進めている。



ペレット冷却システム「ひえた君」

優秀賞

環境資材 株式会社 (愛媛県西条市)

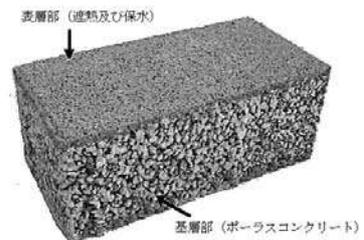
ヒートアイランド現象を抑制するコンクリート混和剤(活性アルミナ)の開発

業績概要

同社は、熱特性に優れた活性アルミナに注目、水酸化アルミニウムを焼成処理しヒートアイランド現象を抑制するコンクリート混和剤(活性アルミナ)を開発した。

本混和剤を使用したコンクリート製品(クーリングハイブII)は、ブロック舗装材の表層部へ使用することで従来品より①保水の維持性に優れ、②近赤外線を高効率で反射する、③熱伝導率が低く熱を伝えにくい、④湿度の吸湿・放湿を自動的に繰り返し気化熱による温度上昇を抑制する、等々の効果で夏場の路面温度上昇を抑制する効果を発揮する。

2014年に特許を取得、2015年には国交省のNETISに登録され、2016年には愛南町の須ノ川公園で採用されている。今後も「自然環境の改善」を目的とした公共工事や民間駐車場などでの普及が期待されている。



クーリングハイブIIを活用したブロック舗装材

③ 第7回四国でいちばん大切にしたい会社大賞 受賞者の概要

●四国経済産業局長賞

株式会社シケン (徳島県小松島市) 歯科技工物の製造・販売、歯科材料の販売、咀嚼機能材料の研究・開発	
「共育ち精神」による一体感! 「働く人が輝く会社」!	
事業概要	1975年に個人創業。その後、個人企業で行われることの多い歯科技工を企業化、組織化を図ったことにより、優れた個々の技術が集団化されて発展し、現在では、徳島の枠を超え全国で事業を展開する。「歯科技工業の企業化、組織化を通じて、歯科医療の発展、人々の健康に貢献するとともに、全社員の豊かな人生を創出する」との経営理念のもと、社員の幸せと人間力の向上を目指している。 同社では、子育てを行う従業員の仕事と家庭の両立を支援するために産休・育休、時差出勤といった社内制度の整備のほか、高齢者の再雇用や女性管理職の登用を行っている。また、国家資格である歯科技工士の資格を持つ障がい者についても積極的に定期採用の募集と受け入れを行い、採用後は、能力に応じて部署に配置しており、同社の掲げる「共育ち精神」を持って、同社で働く全社員が仕事に取り組んでいる。また、地域の老人施設を巡回し、入れ歯洗浄のボランティアを行うといった地域・社会貢献活動にも取り組んでいる。
	

●中小企業基盤整備機構四国本部長賞

株式会社世起 (愛媛県伊予郡松前町) 菓子製造業、食品加工業	
経営理念の共有と実践! 「社長と社員がともに学ぶ会社」!	
事業概要	1970年に創業。黒ごまやきな粉を使った昔懐かしい健康志向のお菓子を製造しており、全国菓子大博覧会では3度の金賞受賞をはじめ、数々の賞を受賞しており、その後も、新商品の開発に意欲的に取り組んでいる。 同社では、毎朝15分の環境整備と朝礼を実施している。朝礼では5分間の経営計画書の読み合わせを行うことで経営理念の浸透を図っている。社員教育の取組としては、「ブラザーシスター制度」により、先輩社員が新入社員をマンツーマンで指導することにより、経営理念の一つである「共に学び成長する」を浸透させている。これは、パートを含む新入社員への指導により、先輩自身が指導することによって問題意識を持ち、改善の取組につなげる狙いがある。これにより、社員が社長に対して改善点の提案を行うことにつながっており、社長も社員から受けた提案を受けてすぐに実行に移すことで、社長と社員が共に学び成長していく風土を生み出している。また、高齢者の就労機会の確保も行うことで、他社での経験を積んだ人材を活用し、社内環境の活性化に取り組んでいる。
	

●奨励賞

渦潮電機株式会社 (愛媛県今治市) 船舶、陸上プラントの受配電盤、制御・監視システムの製造・工事、EV事業	
経営理念の共有徹底と行き届いた社員教育! 「和を重んじ、国内外で活躍する会社」!	
事業概要	1946年創業。造船のまちである今治市において、国内外の多くの造船メーカーに船舶の受配電盤、制御・監視システムの供給、船舶の制御や配電の技術を活かした東南アジアにおけるEV車の普及開発事業に取り組んでいる。 国内外でも活躍の場を広げる同社を支えているのは、「和の精神をもって技術の向上と責任の完遂をはかる」という社訓である。社員はその想いを理解して規律・礼儀を重んじて行動し、顧客に対して最高のサービスの提供に取り組んでいる。お客様の来訪時や帰り際に、社員が一斉に立ち上がって気持ちよく挨拶するところに表れている。また、社員は人財との考えのもと、社員への誕生日ケーキのプレゼントや、高校生までの子どもを持つパートを含む社員の方へのお年玉を支給など、家族のために頑張る社員への配慮を行いながら、社員とのコミュニケーションを図っている。その他、家族をはじめ、教育機関や団体の工場見学を積極的に受け入れ、社員、顧客、地域に優しい会社であり続ける取組みを行っている。
	

④ 講演会

企業の最重要課題は人材の確保と育成

～働きやすい環境づくり・社員のモチベーション向上の仕組みづくり・強い会社づくり～

拓新産業株式会社 代表取締役 藤河 次宏 氏



イノベーション四国と四国経済産業局は、毎年、顕彰事業表彰式にあわせて記念講演会を開催しています。今年は2月28日、高松市サンポートのかがわ国際会議場において、「社員満足主義」を掲げ、平成元年より完全週休2日（休日出勤なし）・残業ゼロ・有給休暇完全消化で黒字経営（創業以来赤字なし）を続けられ、「平成25年度ダイバーシティ経営企業100選」（経済産業省）に選出、「第8回ワーク・ライフ・バランス大賞」優秀賞（日本生産性本部）、「第6回日本で一番大切にしたい会社大賞」審査委員会特別賞（人を大切にする経営学会）を受賞されました拓新産業株式会社代表取締役藤河次宏氏をお招きして、「働きやすい職場環境を目指して～我が社の働き方改革30年～」をテーマに講演いただきました。

【講師プロフィール】

福岡市出身。福岡の大学を卒業後、地元の建材商社に勤め、1977年に30歳で拓新産業株式会社を設立。妻、横浜で働く子どもがいる。ライフワークは山登り。

建設用機材（足場類）などのレンタル及びリース事業を展開。新卒採用の不振をきっかけに自社の魅力向上を強化。“顧客満足よりも社員満足を優先させる”という強い決意のもと、完全週休2日制と残業ゼロを達成。働き方改革によって業務全体の効率化を実現している。社員の参画意識の向上と自発的行動を促す全員参加の経営計画立案、多様な「委員会活動」と「表彰制度」を通じ、魅力ある「働きやすい会社」へと大きく転換したほか、管理部門に配属された社員たちの特命プロジェクトでコスト削減を実現、収益アップに寄与している。

H15年子育て応援宣言企業登録（福岡県内で3番目）

H16年福岡県知事より「男女共同参画企業賞」を受賞

H20年21世紀事業団より「職場風土改革促進事業実施事業主」の指定を受ける

H26年「ワーク・ライフ・バランス大賞」優秀賞を受賞（日本生産性本部）

H27年ダイバーシティ経営企業100選に選出（経済産業省）

H27年中小企業白書に事例掲載（189回国会提出）「中小企業における人材の確保・育成」

H28年第6回「日本で一番大切にしたい会社」大賞 審査委員会特別賞受賞（人を大切にする経営学会）

H29年第1回「福岡県雇用管理改善企業」知事表彰受賞

1 成長産業支援事業

①第2回CNF技術セミナー

四国経済産業局より受託した、平成29年度「地域中核企業創出・支援事業（高機能素材活用産業創出事業）」の一環で、セルロースナノファイバー（CNF）を研究している企業研究者や大学研究者等を講師としてお招きし、CNFの開発状況や特徴、応用例などの技術シーズを紹介していただく「第2回CNF技術セミナー」を四国中央市において開催しました。

今回のセミナーでは、2名の講師の方々にそれぞれの専

門分野についてご講演いただき、参加者からは、「CNFを扱う上での問題、評価について詳しく説明があり良かった」「『ナノ』という名称は聞いた事がありましたが、初めて詳しく知ることができました」などの感想が寄せられました。

■日時：平成30年2月7日（水）
14:20～16:40

■場所：ホテルグランフォーレ（四国中央市）

■参加者：70名

◆セミナーの講師および講演内容

講 師	講 演 内 容
大阪大学 産業科学研究所 教授 能木 雅也 氏	ペーパーエレクトロニクス「CNFの新たな展開に向けて」
産業技術総合研究所 中国センター 材料・化学領域 機能化学研究部門 主任研究員 伊藤 弘和 氏	セルロースナノファイバーの実用化に向けて



大阪大学 産業科学研究所 能木教授



産総研中国センター 伊藤主任研究員



セミナー風景

②新機能性材料展2018へ出展

■月 日：平成30年2月14日（水）～16日（金）
 ■場 所：東京ビッグサイト 東3ホール

機能性材料関連の総合展示会「新機能性材料展2018」（主催：株式会社 加工技術研究会）が、開催されました。（「nano tech 国際ナノテクノロジー総合展・技術会議」はじめ11展と同時開催）

STEPでは、高機能素材事業の一環で、市場ニーズの把握を行うとともに、出展企業の販路開拓や連携関係の構築を支援し事業化に繋げることを目的に、当財団小間（8小間）にて四国企業（13社）の出展を支援致しました。

開催期間中は約4.4万人の来場者があり、出展企業は対

応者を派遣し、懇切丁寧に来場者に説明するなど熱心に取り組んで頂き、四国の技術をPRするとともに市場ニーズの把握を行うことができました。出展者の方々には厚く御礼申し上げます。

今後も一過性のイベントに留まることなく、今回の展示会を足掛かりに少しでも多くの企業が販路開拓や連携・マッチングに繋げていけるよう支援していきたいと考えております。

展 示 概 要 一 覧

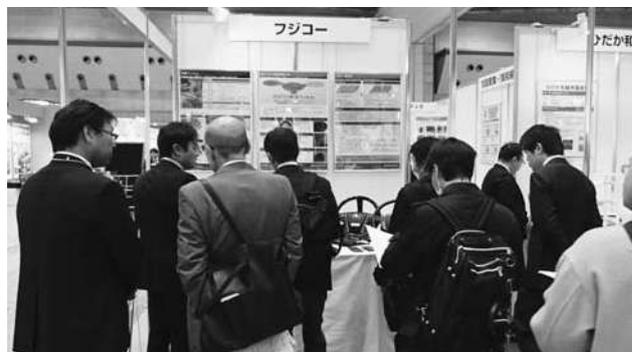
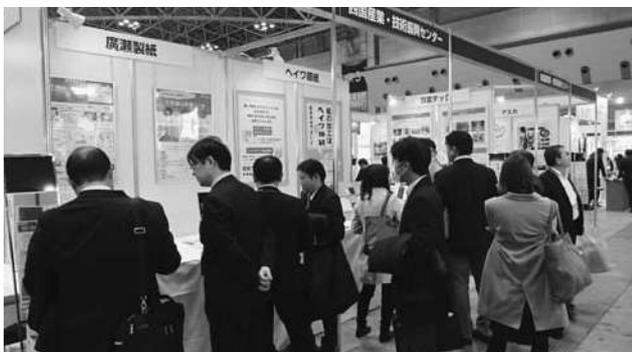
[CFRPなど高機能素材関連]

企業名	展示概要
株式会社 アスカ	<ul style="list-style-type: none"> CFRP材加工技術の紹介 CFRP部品サンプル、自社成形素材及び切削加工品 各種金属部品サンプル
株式会社 コスにじゅういち	<ul style="list-style-type: none"> 超高圧無脈動ホモゲナイザーのPR 超高圧無脈動ホモゲナイザーを用いたCNF製造
四国化工株式会社	<ul style="list-style-type: none"> 高強度フィルムの紹介 プラスチックダンボールの紹介
四変テック株式会社	<ul style="list-style-type: none"> 熱可塑性CFRPをプレス成形した試作品及びパネル
株式会社 長峰製作所	<ul style="list-style-type: none"> 金型からの一貫生産による製品化、微細加工 精密押出成形金型、ハニカム触媒・吸収剤、セラミックス精密微細部品、マイクロハニカム、マイクロメッシュ、金属多孔体
明興産業株式会社	<ul style="list-style-type: none"> CFRP加工サンプル 各種樹脂加工サンプル 各種樹脂成形サンプル CNF分散PP成形サンプル等
森田技研工業株式会社	<ul style="list-style-type: none"> 液圧式ダブルベルトプレス装置の紹介 高温（最高400℃）・高圧（10Mpa）対応

[高機能紙関連]

企業名	展示概要
阿波製紙株式会社	<ul style="list-style-type: none"> CARMIX 熱拡散シート（熱源の熱問題を解消するシート） CARMIX CFRTP（不連続炭素繊維と不連続熱可塑性繊維を混抄した炭素複合材料）
七王工業株式会社	<ul style="list-style-type: none"> [音・振動対策]産業機械用途向けアスファルト系制振シート
ひだか和紙株式会社	<ul style="list-style-type: none"> 世界一薄い和紙 和紙の別注染色 テープ状和紙 使用事例等々
廣瀬製紙株式会社	<ul style="list-style-type: none"> 湿式不織布 断熱紙 吸着シート等 塗工技術等
株式会社 フジコー	<ul style="list-style-type: none"> 超薄膜フィルムへの高精度グラビア印刷技術 剥離フィルム（シリコン／非シリコン剥離フィルム） 3Dドライ転写フィルム 撥水・撥油紙
株式会社 ヘイワ原紙	<ul style="list-style-type: none"> 塗工技術の紹介 研磨剤塗布不織布（爪磨きシート、金属磨き） 化粧品（紙石鹸、フェイスマスク、脂取り紙、紙白粉） 香り付きシート等

STEP展示ブースの風景



詳細は TEL087-851-7082 産業振興部までお問い合わせください。

この事業は、競輪の補助金を受けて開催しました。
<http://ringring-keirin.jp>



③ AFRW(高機能繊維強化集成材) セミナー&説明会

四国経済産業局より受託した、平成29年度「地域中核企業創出・支援事業(木造建築用AFRW販路開拓プロジェクト)」の一環として、炭素繊維で強化し、従来の集成材(※)と比較してより高い剛性を持つ四国発の新素材「AFRW(高機能繊維強化集成材)」の普及促進を目的とした「AFRWセミナー&説明会」を、四国経済産業局との共催で松山市において開催しました。

(※)集成材:断面寸法の小さい木材(板材)を接着剤で再構成して作られる木質材料

今回のセミナー&説明会では、基調講演として、東京大学生産技術研究所 教授 腰原幹雄氏を講師にお招きし、今後の木造建築の方向性などについてご講演いただきました。

また、本プロジェクト参加企業より、「集成材に関する現状・今後の見通し」「AFRWの開発状況、利用可能性」などについてご説明いただきました。

会場内では、AFRWサンプル展示が行われ、参加者からは、「木造建築の新たな可能性が見えた」「規格化され、コストが見合えば使用を検討したい」などの感想が寄せられました。

■日時:平成30年3月9日(金) 14:00~16:30

■場所:松山市総合コミュニティセンター
(愛媛県松山市湊町七丁目5)

■参加者:53名

◆プログラム

- ・基調講演「都市木造の可能性 ーいろいろな木質材料を使う」
東京大学生産技術研究所 教授 腰原幹雄氏
- ・「集成材の製造及び流通に関する現状と今後の見通しについて」
株式会社サイプレス・スナダヤ 代表取締役社長 砂田和之氏
- ・「AFRWの開発について」
帝人株式会社アラミド事業本部ソリューション開発部 部長 尾崎大介氏
- ・「AFRWの物性と利用可能性について」
帝人株式会社アラミド事業本部ソリューション開発部インフラソリューション開発課 長瀬諭司氏

[AFRW]
Advanced Fiber
Reinforced Wood



セミナー風景



東京大学 腰原教授



(株)サイプレス・スナダヤ 砂田社長



AFRWサンプル展示見学

2 食産業の振興

① 四国アライアンス「産業振興セミナー」 ～「四国健康支援食品制度」の活用事例～

当センターは、昨年6月に運用開始となった「四国健康支援食品制度」(愛称:ヘルシー・フォー、※1)の普及拡大に向けた取り組みとして、四国アライアンス(阿波銀行、百十四銀行、伊予銀行、四国銀行による包括提携組織※2)

との共催で、平成30年1月～3月の間、本制度に関心のある事業者を対象としたセミナーを4県都にて順次開催しました。

セミナーの開催状況

	1月17日	2月2日	2月21日	3月14日
場 所	百十四銀行 (高松市)	四国銀行 (高知市)	伊予銀行 (松山市)	阿波銀行 (徳島市)
事例発表企業	(株)レアスウィート 自然免疫応用技研(株) (株)中温	(株)レアスウィート 酔鯨酒造(株) (株)中温	(株)レアスウィート 酔鯨酒造(株) (株)中温	(株)レアスウィート 自然免疫応用技研(株) (株)中温
参加者数	50名	40名	40名	30名

当日は、第一部で、各地に本店を置く地方銀行の主催者の開会挨拶に続いて、当センターが本制度の概要と制度適用に向けて留意して頂きたい点を説明した後、昨年10月に第1回認証を受けられた企業から事例発表が行われました。

10分の休憩を挟み、続く第二部の個別商談会では、機能性が期待されている食品素材を有する企業と食品製造事業者との間での商談に加え、本制度の適用に関して活発な意見交換などが行われました。

特に、最終回となった3月14日のセミナーでは、認証食品の一つである「美ツ栗ポリフェノール」に配合されている栗渋皮抽出物を製造している(株)中温様から「**認証されたことが新聞に出てからは、弊社への問い合わせが3倍増となり、それらの中には大手食品企業もいる。『ヘルシー・フォー』の発信力はかなり強いものがあり、この認証を取れば、かなり面白い商品ができるのでは**」とのコメントが発せられるなど、今後の取り組みに弾みがついて終了となりました。

(※1) 四国健康支援食品制度

- ・食品の安全性・機能性に関し、科学的根拠が存在する食品であることを審査・評価し、商品に表示することのできる四国独自の民間認証制度。
(本誌2017夏号5～7頁参照)
- ・着想から約10年の年月を費やして、昨年6月27日に制度運用開始となり、同年10月24日、第1回認証食品が発表された。(右図は認証マーク)



(※2) 四国アライアンス

- ・4行それぞれの経営の独立性および健全な競争関係を維持しつつ、4行が連携して四国地域の活性化や創生に取り組むことにより、各地域および顧客の持続的な成長・発展に貢献することを目的として2016年11月に締結された包括提携協定に基づく組織。
- ・今回のセミナーは、この組織の中に設けられた分科会において検討・計画され、当センターとの協議などを経て実施されたもの。



四国アライアンス「産業振興セミナー」
～「四国健康支援食品制度」の活用事例～の各会場の風景

◆四国健康支援食品制度の説明【STEP森部長】



(百十四銀行)



(阿波銀行)

◆四国健康支援食品制度第1回認証食品の事例紹介



(四国銀行)



(四国銀行)

◆第一部閉会挨拶【STEP井上副事務局長】

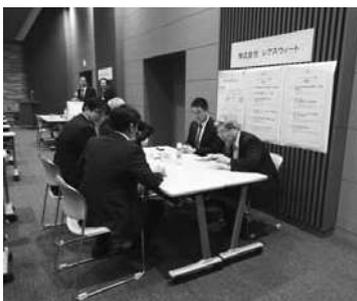


(伊予銀行)



(阿波銀行)

◆個別商談会



(四国銀行)



(四国銀行)



(伊予銀行)

※()は今回写真を提供して頂いた銀行

②「四国健康支援食品普及促進協議会」平成29年度総会を開催 ～役員選出、30年度事業計画案・規約改定案に関する審議など～

当センターは、昨年6月に制度運用開始となった「四国健康支援食品制度」(愛称:ヘルシー・フォー)を活用して、四国の食産業の振興に向けた取り組みを進めていくことを目指し、四国健康支援食品普及促進協議会の平成29年度総会を3月22日、高松市で開催しました。(会員総数35社・団体・人のうち議決権行使書による出席も含め24社・団

体・人が出席)

総会では、会長選出に続いて、副会長・顧問の選出、平成29年度事業実施報告、平成30年度事業計画案、規約改定案に関する審議が行われ、事務局案が原案どおり承認されました。

【総会で選出された会長・副会長・顧問】

(敬称略)

役 割	氏 名	所 属 ・ 役 職
会 長	箴 島 克 裕	仙味エキス株式会社 代表取締役社長
副 会 長	小 谷 和 弘	株式会社小谷穀粉 代表取締役社長
顧 問	柚 源 一 郎	自然免疫制御技術研究組合 代表理事
	受 田 浩 之	高知大学 副学長 地域連携推進センター長

総会終了後、10分間の休憩をはさみ、後半では、自然免疫制御技術研究組合研究本部長の稲川裕之氏から「新し

い健康の捉え方とそれに基づく簡便な評価システムの開発」というテーマでご講演を頂きました。



今後、当センターでは、平成30年度事業計画を着実に実施するとともに、スタートから2年目を迎える本制度の普

及拡大に向けて、本協議会会員のご支援・ご協力をお願いして閉会となりました。

この事業は、競輪の補助金を受けて開催しました。

<http://ringring-keirin.jp>

日本が生んだ世界のスポーツ



3 技術開発支援

戦略的基盤技術高度化支援事業（通称：サポイン事業）成果報告

平成27年度サポイン採択事業「大型車に特化した危険予測可能な後側方障害物センサの開発」については、平成30年3月末で3年間の研究期間が終了したので、その成果概要を報告する。

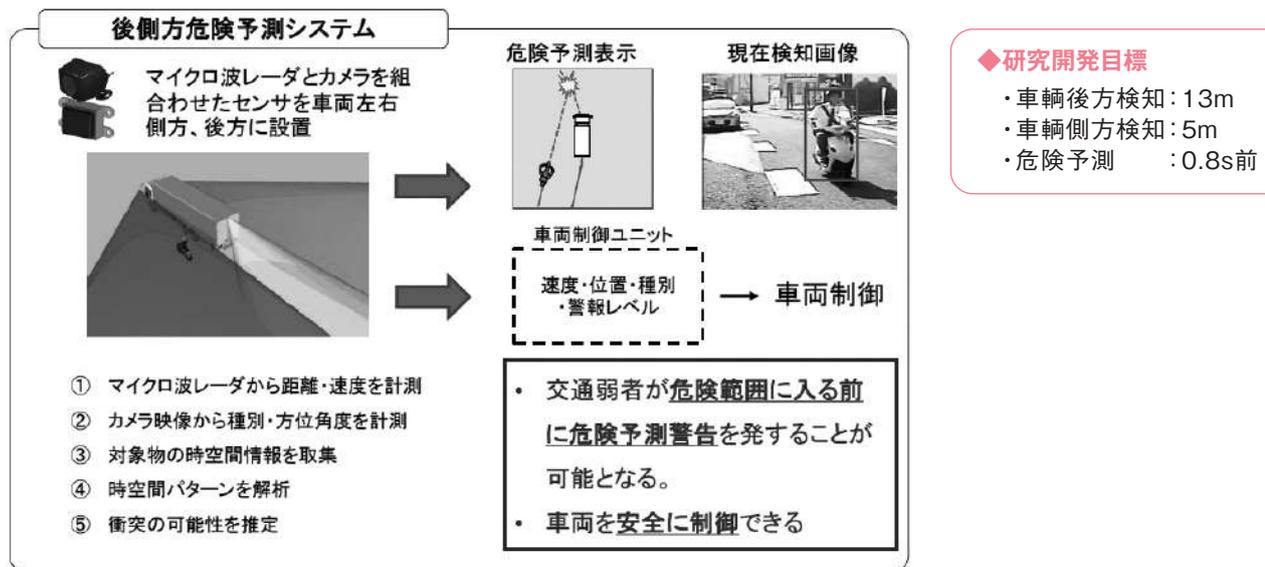
【開発概要】

大型車製造メーカーでは、大型車の対「人」における死亡事故率の高さから車両後側方の障害物を検知し危険予測する安全システムの開発が求められている。本研究では、マイクロ波レーダによる対象物の距離・速度の計測とカメラ映像による対象物の種別とその方位角度を計測し、そのデータから対象物の種別と時空間情報・時空間パターンを解析することで、対象物との衝突の可能性を推定し、予測される危険情報を運転手へ提示するシステムを開発する。

【研究体制】

- ・事業管理機関：一般財団法人四国産業・技術振興センター
- ・研究実施機関：株式会社パル技研（“中小ものづくり高度化法”に基づく法認定事業者）
株式会社タダノ、国立大学法人広島大学、国立研究開発法人産業技術総合研究所、
香川県産業技術センター

【開発システム概要】



【成果発表・用途開拓】

平成30年1月17日～19日東京ビッグサイトで開催された「オートモーティブワールド2018」に開発品を展示・PRを行うと共に、新たな用途開拓を行った。



展示ブース

◆開発技術と用途展開例

- ◎“電波センサ”（障害物検知）
トラック等大型車の巻き込み防止
- ◎“画像センサ”（人検知）
トラック等大型車の巻き込み防止、作業中安全確認
- ◎“電波+画像センサ”
クレーン、トラック等の全周囲障害物検知（夜対応可）

◆当技術の連絡窓口

株式会社パル技研（URL: <http://www.palgiken.co.jp/ja/>）
取締役 山田浩
TEL:087-864-3388 FAX:087-864-3386

4 販路開拓支援

◆イノベーション四国ビジネスマッチング2017の開催 ～協創マッチングフォーラムへの出展支援～

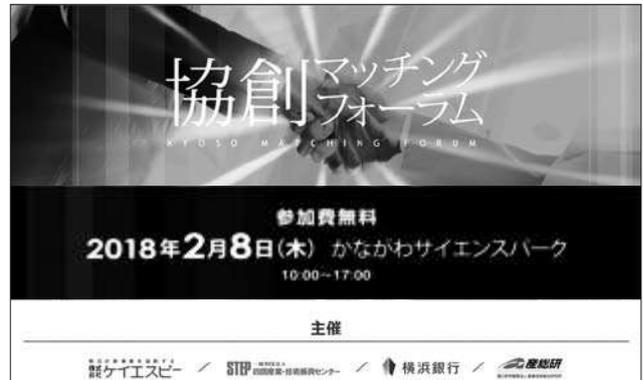
四国内のものづくり中小企業の技術や事業化シーズを効果的にPRし販路拡大を図ることを目的に、昨年度に引き続き四国4県より選定したものづくり中小企業20社を対象に、イノベーション四国ビジネスマッチング2017開催しました。

今年度の1回目は、昨年11月29日、30日にマイドームおおさかで開催された「ビジネスチャンス発掘フェア

2017」への出展・支援を通じて行いました。

今回、2回目として、大阪での展示会に参加した企業5社を対象に、広域支援機関である(株)ケイエスピー（川崎市）が企画するマッチング会に参加し、首都圏大手企業とマッチングを行いました。（本事業は四国経済産業局の委託事業の一環として実施しました。）

【名称】 平成29年度 協創マッチングフォーラム
【会期】 平成30年2月8日（木）10:00～17:00
【会場】 かながわサイエンスパーク（KSP）
 （神奈川県川崎市高津区坂戸3-2-1）



◆参加者

	全 体	うち四国
大企業参加者数	28社	
中小企業参加者数	22社	5社
面談件数	130件	37件

◆四国からの出展企業及び提案内容：5社

企業名	所在地	提案内容
(株)パル技研	香川県高松市	発電所、空港など重要インフラにおけるテロ防犯対策
高松帝酸(株)	香川県高松市	フッ素ガスでしか得られない特異な効果で、高付加価値の商品開発に貢献します!
カミ商事(株)	愛媛県四国中央市	羽毛を機械的に粉碎した「羽毛粉末」の特長を生かした商品開発技術
(株)マルヤス	愛媛県新居浜市	傷をつけない洗浄装置（通称：スクリュープレッシャー、メタルプレッシャー）と洗浄液（通称：ゲル・ピカ・ラボ）
アプライズ(株)	愛媛県西条市	1. 電子機器の開発と製造を委託してみませんか? 2. 熱可塑性プリプレグと加工技術を提案します。

◆プレゼンテーション・個別面談の状況



◆参加企業の感想

フォーラムに参加した企業からは、『今回のマッチングは大変有意義であった』『次回も是非参加したい』との高評価

を頂きました。今後とも、参加企業より評価されるマッチング支援を実施したいと考えております。

5 その他活動

① STEP役員会を開催

当センターは、3月に理事会および評議員会を開催しました。

◆平成29年度 第4回理事会

3月8日に東急REIホテルにおいて、理事13名中11名の出席および監事1名の出席により第4回理事会を開催し、平成30年度事業計画案および収支予算案等について審議を行い決議しました。

- 日 時：平成30年3月8日(木)
13時00分～14時00分
- 場 所：東急REIホテル3F 讃岐の間
- 出 席：理事11名、監事1名
- 議 事：平成30年度事業計画及び
収支予算について ほか



第4回 理事会

◆平成29年度 第3回評議員会

3月20日に東急REIホテルにおいて、評議員14名中10名の出席および理事3名の出席により第3回評議員会を開催し、平成30年度事業計画案および収支予算案等について審議を行い承認しました。

- 日 時：平成30年3月20日(火)
13時00分～14時00分
- 場 所：東急REIホテル3F 讃岐の間
- 出 席：評議員10名、理事3名
- 議 事：平成30年度事業計画及び
収支予算について ほか



第3回 評議員会

承認された収支予算案(正味財産増減計算書)

(単位:百万円)

	平成30年度予算
収 益	93
費 用	101
正味財産増減額	△ 8

② ものづくり日本大賞応募支援

～当センター推薦の2社が「ものづくり日本大賞」を受賞～

当センターは、経済産業省ほかが運営する「第7回ものづくり日本大賞」について、(株)タダノ、YAMAKIN(株)の2社について推薦機関として応募申請を支援しておりました

が、両社とも経済産業大臣賞の各賞を受賞し、30年2月に表彰式が行われました。おめでとうございます。

経済産業大臣 特別賞

(株)タダノ様ほか※

世界に先駆けた、建設用クレーン技術の応用による文化財保護・修復支援サービスの展開

建設用クレーン開発で培った総合技術を活かし、前例がなく、失敗が許されない難事業(文化財保護)に果敢に挑戦。壁画面に直接触れられない、対象物や現場情報が十分に得られない等、厳しい環境下で、国宝(高松塚古墳)の石室解体・移送を実現するなど、国内外の文化財保護に貢献されました。

※本事業の協力先である(株)カワニシ様、(株)真鍋プランテック様との連名で応募されました。



経済産業大臣 優秀賞

YAMAKIN(株)様

世界初、フッ素徐放性を付与したCAD/CAM用高性能歯科材料の開発

貴金属の高騰や金属アレルギーなどの問題から代替材料が求められる中、樹脂とセラミックス粉末を複合化したCAD/CAM切削加工用のハイブリッドレジン材料を開発し、独自素材を基にして改良を重ねることにより、世界で初めてフッ素徐放性を付与した高性能歯科材料の開発に成功されました。



③イノベーション四国 支援機関連絡会を開催

イノベーション四国では、平成30年度の活動計画の検討に当たり、各会員機関やICの方々からの意見・提案収集を行うため、1月に各県を巡回し支援機関連絡会を開催しました。

29年度には4県の中小企業団体中央会や四国経済連合会も参加して、イノベーション四国の会員機関は49に増加し、これまで以上に情報共有や活動連携が重要になってきたことから、新たに実施することにしました。

会議では、昨年11月に開催した「イノベーション四国ビジネスマッチング」の実施結果をはじめとする29年度の活動実績を報告し、同マッチングに参加したICからも意見・感想を紹介いただきました。30年度についても「有望な技術を持つ企業が成長するための支援」を重点活動に据え、近年注力している販路開拓を核に企業の強みや独自技術を確認しブラッシュアップを図る活動をメインとし、各支援機関が計画している企業の展示会等への出展支援にも適用していくことなどを課題として取り組んでいくことにしました。

本連絡会で収集した意見等を反映して策定したイノベーション四国の30年度活動計画案は、2月22日開催の幹事会を経て、2月28日の総会に提案し、承認を得ました。(本誌3頁を参照ください。)

開催日	場所	会場	出席者
1月16日	火 高知	県民文化ホール	26名
1月23日	火 松山	二番丁ホール	21名
1月26日	金 高松	サンポートホール	29名
1月30日	火 徳島	とくぎんとモニプラザ	20名



高知会場



松山会場



高松会場



徳島会場

この事業は、競輪の補助金を受けて開催しました。

<http://ringring-keirin.jp>

日本が生んだ世界のスポーツ

KEIRIN 

STEPのひとりごと

春 雑 感

草花が芽吹き、桜が咲く、『ころ』がウキウキする季節がやってきた。

振り返れば、今年の冬は例年になく寒かった。四国では十年振りの積雪、北国は記録的な大雪だった。昨年の夏に遡ると猛暑だった。異常気象。「二酸化炭素」削減努力が一層求められる。経済の「あり様」がこのままで良いのか、警鐘を鳴らしている。経済「合理性」を追求してきた結果だ。これからは経済「『非』合理」な取組みも大事だ。

「非合理」と云えば、人の行動はそもそもそういう部分が多分にあるが、だからといって「二酸化炭素」削減が簡単に進むわけではない。「賢明な人類」は「行き過ぎる」と「修正する」経験を積み重ねてきた。期待したいものだ。

平昌冬季五輪、アイススケートやジャンプ、多くの選手から感動をもらった。みんなが喜んだ。「感動」とは「人」特有。その「人」が社会も経済も動かす。景気の「気」は人の気持ちに由来しているという。その「人」を動かすのは「ころ」である。

ノーベル賞の対象となった行動経済学、「心理学」と「経済学」を組合せ「ころの動き」や「非合理的な行動」を経済に結び付け解明する学問だ（と理解している）。「四国でいちばん大切にしたい会社大賞」の授賞式が毎年行われる。今年で7回目。経済「合理性」には必ずしも合致しない経

営、社員やその家族を大切にする企業が対象だ。そういうことに熱心な会社は継続的に利益を上げている。行動経済学を実践しているのかも知れない。

対極にあるのが「ロボット」。人手不足もあり話題になることが多いが、介護分野など人の気持ちを和ませる話題も多くなった。先日、テレビで千葉の「劇団」を取り上げていた。ロボットが主人公だ。おもちゃ工場で“働く”ロボットが、そのうち「人」と気持ちを通わせるようになる物語だ。「劇団」では珍しい“ロングラン”だそうだ。

世界を見渡せば様々な問題で紛争がまだまだ絶えない。ニュースを見るたびに早く解決して欲しいと願う。正月の新聞に21世紀は「寛容の時代」と書いていた。お互いを理解しリスペクトする「ころ」が大事と教えられる。

四国は遍路文化があり「おもてなし」の文化が根付く。全ての解決の原点は「ころ」の持ち様にあるように感じる。最後に極めつけは、遍路巡りで出会った言葉、『日常の五心』。①ハイという素直な心、②すみませんと云う反省の心、③わたしがしますという奉仕の心、④おかげさまでと云う謙虚な心、⑤ありがとうと云う感謝の心

『ころ』がウキウキする季節、こうありがたいものだ。

(K. H)

職員の異動

転 入

平野 有二（四国電力株式会社から入向）
 浜田 敦（四国電力株式会社から入向）
 横江 哲也（四国電力株式会社から入向）
 鬼勢 章（四国電力株式会社から入向）

転 出

山本 宗男（四電ビジネス株式会社へ転籍）

編集後記

待ちに待った春がやってきましたね！暖かくなると心も体も軽くなる感じがします（笑）

4月といえば桜ですが今年は例年よりも満開になるのが早く我が家は慌ててお花見に出かけました。みなさまはいかがでしたでしょうか。

さて、たくさんの品種がある桜ですが日本に植えられている80%はソメイヨシノだそうです。種を实らせることがほとんどないので、人の手によって接ぎ木や挿し木を行い、数を増やしてきました。その結果、原木が同じためクローンと言われるのです。寿命が60年という説もありますが来年も美しい花を咲かせてほしいですね。

(A. S)